

(仮称) 市民交流センター基本構想

【概要版】

令和6年 諫早市

(仮称) 市民交流センター基本構想の目的

本構想は、市が、市民の芸術文化や生涯学習活動の振興のため、市民主体の中規模な公演に対応した500席程度のホール（以下「中規模ホール」という。）と、老朽化し、更新の時期を迎えている市民センター（中央公民館）が有している生涯学習機能を併せもつ、「（仮称）市民交流センター」（以下「本施設」という。）の整備検討を進めるにあたり、施設整備の方針を示すことで、広く、市民の意見を募り、今後の施設整備計画へ繋げることを目的として、策定するものです。

施設整備に係るこれまでの検討経緯

諫早文化会館の利用者や芸術文化関係団体から要望が寄せられた、中規模な公演に対応したホールの整備について、市は、平成29年から多くの関係者の皆様と意見交換会を行い、500席程度の（仮称）文芸・音楽ホールを、旧市営野球場跡地に整備することとし、各種設計業務に取り組みました。

しかし、一体的な運営を予定していた諫早文化会館への交通アクセスや、建設と運営を合わせたコスト面での諸課題、施設整備に伴う波及効果などを再検討した結果、築50年を経過した市民センター（中央公民館）と合わせて建て替え整備し、その候補地を庁舎前広場一帯とすることが、整備費の縮減や公共交通の利便性、中心市街地の賑わい創出、幅広い市民の日常的な利用などの点で総合的に優れていると判断しました。

これ以降、新たな施設名を「（仮称）市民交流センター」とし、整備検討委員会や関係機関への説明会、市民アンケートやワークショップなどにより、時間をかけながら幅広い市民の意見聴取を重ねてきました。

建設候補地の概要

建設候補地については庁舎前広場一帯の中で複数案を検討した結果、今年2月に開催した第6回整備検討委員会において、「整備場所を庁舎前広場北側とすることに委員会として賛成する」との合意に至りました。

庁舎前広場周辺には、自然や史跡、教育・学習機関や文化施設、飲食店や物販店舗などの多様なゾーンが、徒歩圏内に多面的・複合的に存在しており、これらとの連携による波及効果や施設と広場との連携の点から「庁舎前広場北側」が最適と考えます。



【建設候補地周辺の施設情報】

本施設のコンセプトと基本方針

本施設の機能を中心市街地である「庁舎前広場北側」に配置することで、異なる要素の都市機能を緩やかに結び付ける結節点の役割を創り出し、本施設を介して、多様な世代の市民が交流することで、新たなコミュニティの形成が期待されます。

本施設が、文化芸術や生涯学習活動の拠点となって、新しいコミュニティの活動を生み出し、さらに多くの人を引き寄せることで、市民交流がますます発展し、その効果を中心市街地全体の日常的な賑わいにつなげるため、以下のコンセプトを策定し、そのコンセプトを実現するための4つの基本方針を掲げます。

本施設のコンセプト

ひとが集い、学びを通して
いさはや文化を発展させるにぎわい拠点

基本方針 1 市民の多様な生涯学習、文化・芸術活動の拠点

- 市内で活動を行う公民館自主学习グループなどの社会教育団体や、各地域の文化協会に加盟する文化・芸術関係団体などの多様な市民活動の拠点として整備します。
- 将来を担う子どもたちに、優れた芸術文化に触れる機会を提供することで、子どもたちの情操豊かな人間性を育み、地域文化を支える人材を育成することができる施設とします。

基本方針 2 地域の中で人と人を結ぶ交流の拠点

- 生涯学習や文化・芸術に関して、誰もが気軽に活動に参加できる環境を構築し、人との出会いの場となる交流拠点を整備します。
- あらゆる世代が気軽に日常的に憩い、集うことのできる市民交流の拠点とします。

基本方針 3 中心市街地の価値を創造する拠点

- 新施設は、本市の中心市街地に相応しい都市機能の一翼を担う新しい文化複合施設として、本市が持つ郊外にはない地域資源をさらに引き出すことにより、コミュニティの構築やまちづくり、賑わいの創出などに寄与し、一層の都市の魅力づくりに繋がっていきます。

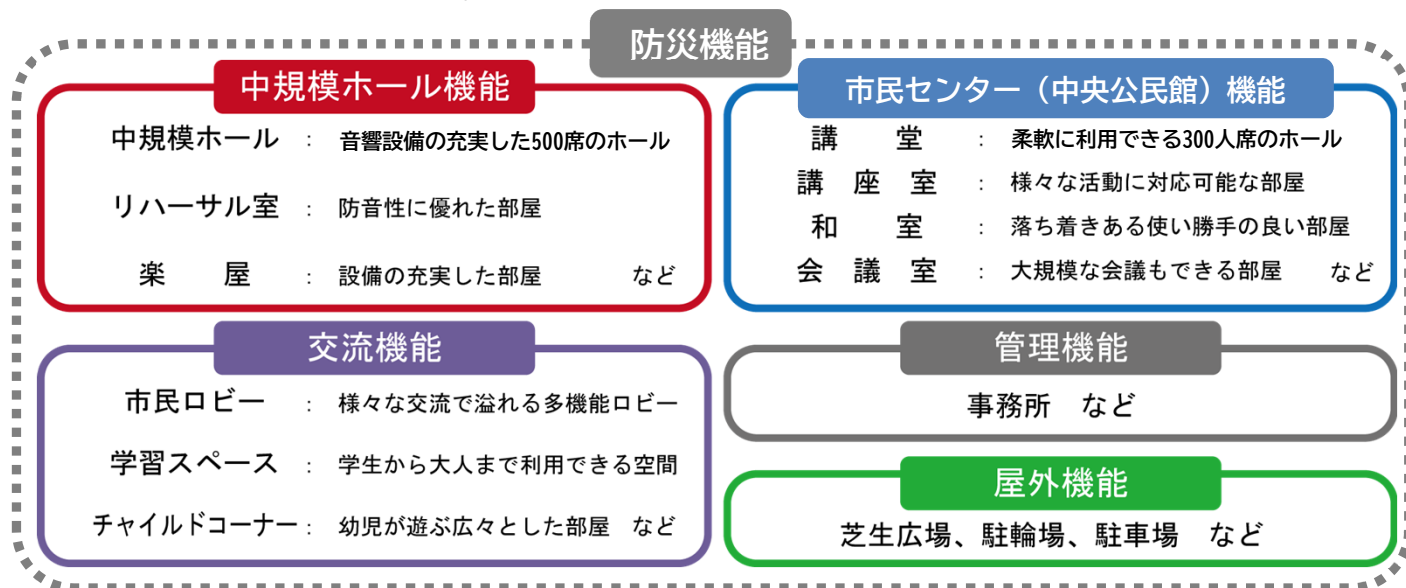
基本方針 4 防災機能を有する安全・安心な拠点

- 現在の市民センター（中央公民館）は、災害時における諫早地域の広域避難場所に指定されていることから、新施設についても、災害時の避難所として十分機能できるよう、必要な機能を確保します。

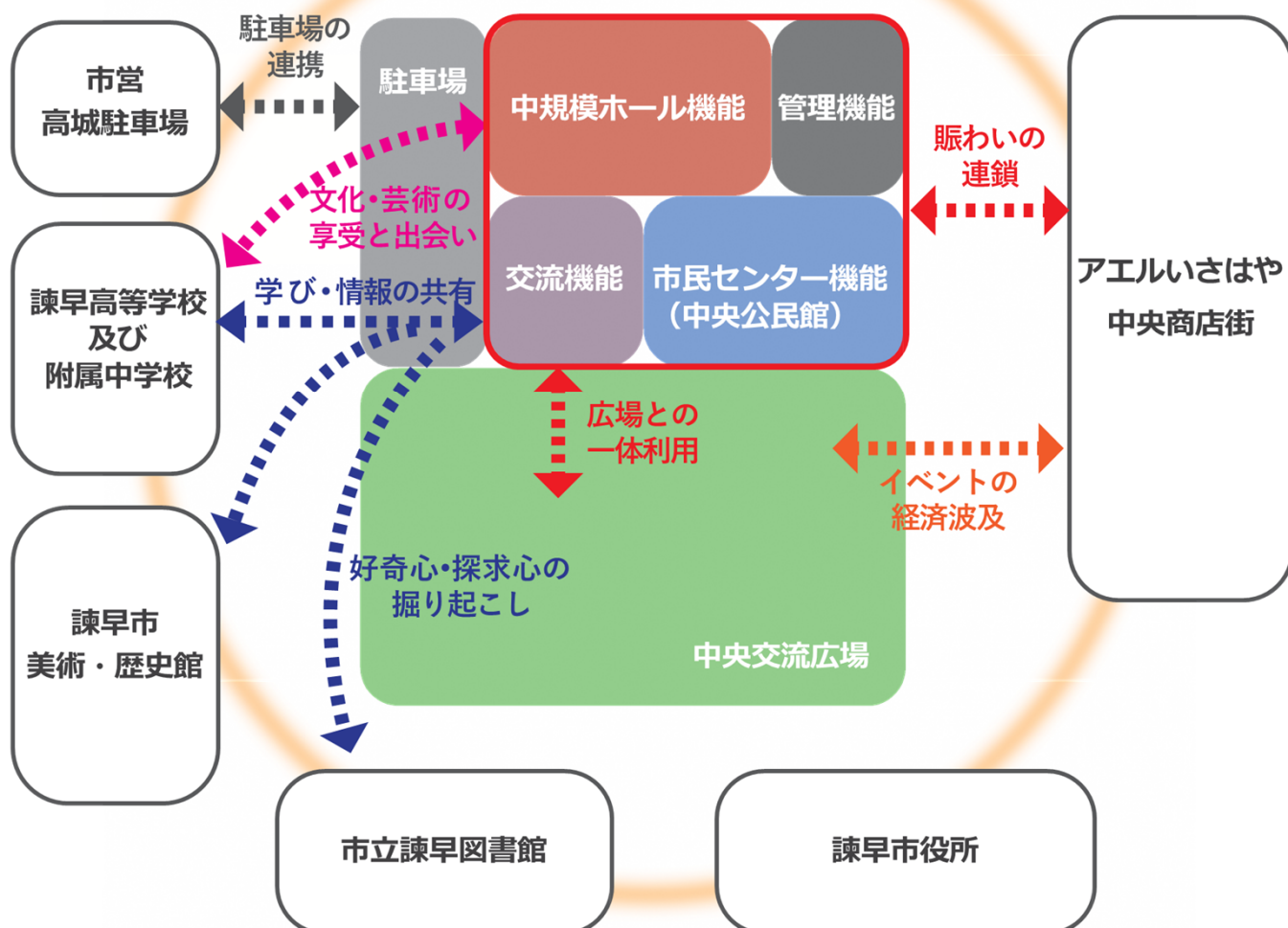
本施設の導入機能の配置の考え方

本施設の各導入機能の配置は、様々な周辺施設との連携を考慮した計画とし、屋外広場はイベントなどで、屋内との一体的な利用が可能となる配置を検討します。

市民センター（中央公民館）解体後の跡地は、広場として整備することとしますが、駐車台数の確保を実現させるため、駐車場としても利用ができるよう検討します。また周辺施設との相互利用を想定し、施設間で駐車場の連携が行うことができるよう検討します。



周辺施設との 緩やかな連携イメージ



【各導入機能の配置のイメージ】